

検査の流れと結果について

検査前の問診

まずは、医師による問診を受けていただきます。

検査等に際してご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。



検体採取

● HIV、梅毒、B型・C型肝炎の検査 → 血液を使用します。

・検査のために採血を行います。

・HIV 及びC型肝炎のスクリーニング検査で陽性だった場合は、確認検査を行います。確認検査では、追加の採血が必要になる場合があります。

● 淋菌、クラミジアの検査 → 尿・うがい液を使用します。

・検査のために尿やうがい液を採取します。トイレで、それぞれ専用の紙コップに採取します。

・尿は、出始めの尿を、少なくとも25mL 程度（カップの3分の1）は採取してください。

・うがい液は、カップに入った生理食塩水（20mL）をすべて口に含み、勢いよくうがいをした後の液をカップに吐き出してください（詳細はトイレに貼った採取手順を参照）。

・カップにフタをかぶせたら、水道付近にあるトレイに置いてください。検体を提出したあとは、手をよく洗いましょう。

結果説明

検査結果は、受検者本人に直接の対面でお知らせします。電話でのお応えはできません。

● HIV、梅毒の結果 → 本日中に判明します。

● 肝炎、淋菌、クラミジアの結果 → 2週間後に判明します。

結果報告の日時は、
「検査申請書」をご覧ください。

※ 予定の日時に来所ができなくなった場合は、必ず事前に電話で保健所へご連絡ください。

採血について

血液検査に必要な手技

・「採血」は血液を採取する医療行為です。

・採血は比較的安全性の高い手技ですが、合併症（併発症）のリスクも伴います。

採血を受けられる方へのお願い

● 下記に該当する方は採血スタッフへお申し出ください

・採血時にご気分の悪くなられる方

・消毒薬（アルコール）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーお持ちの方

・血液透析中の方

・乳がんの手術を受けられた方

・血液をさらさらにする薬（ワーファリン・プラビックスなど）を服用中の方

・その他、採血に関してご希望や不安のある方

● 採血針を刺しても採血できない場合や、1 回の採血で必要な血液量が採取できない場合があり、その際はもう一度採血させていただくことがあります。

採血に伴う合併症について（別紙をご確認ください）

エイズ相談検査及び特定感染症検査は任意の検査です。「採血」の必要性和危険性をご検討の上、採血をお受けいただきますようお願い申し上げます。

【問合せ先】

渋谷保健福祉事務所 保健係

電話：0279-22-4166（代）

メール：shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp